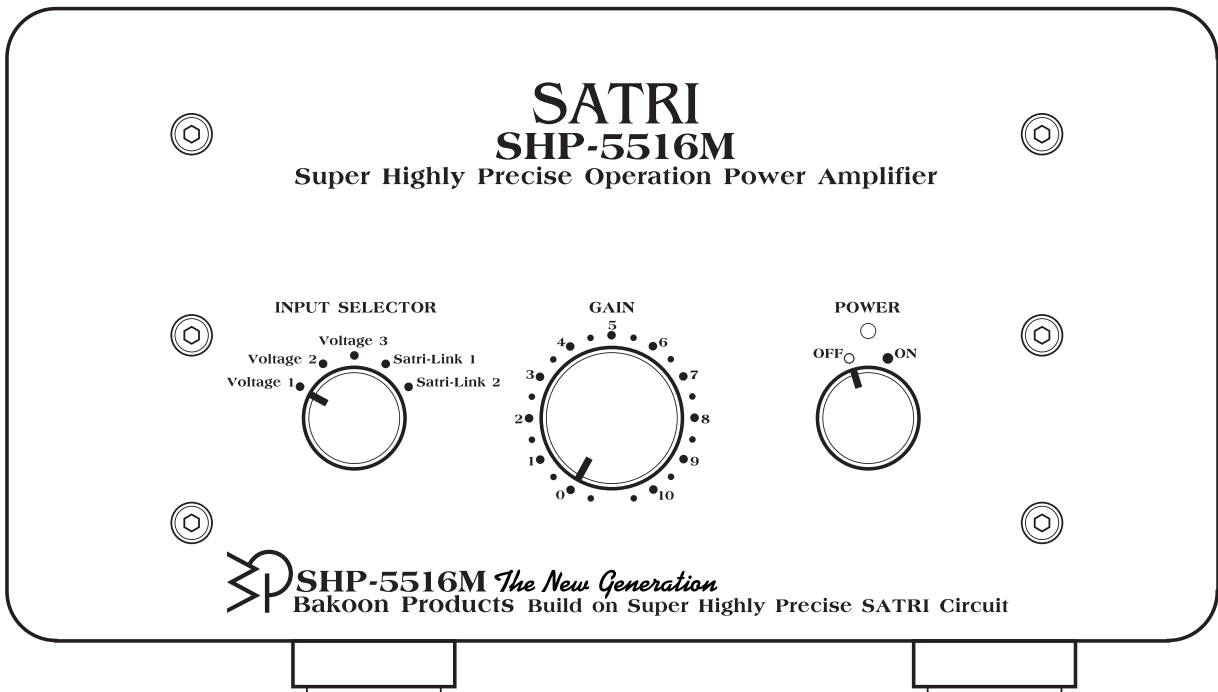


Super Highly Precise Operation Power Amplifier

SHP-5516M



取扱説明書

Owner's Manual

Rev.3.0

はじめに

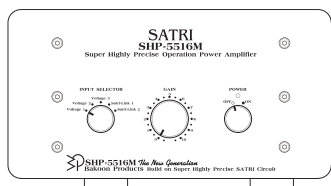
このたびは弊社の SHP-5516M をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

SHP-5516M は、現時点での究極の精度で音楽情報を再生することができます。出力は 8Ω のスピーカーに対して最大出力は 100W で、3 系統の電圧入力 (Voltage Input) と 2 系統の SATRI-LINK 電流入力 (SATRI-LINK Input) を持ち、アンプのゲインは連続可変することができます。

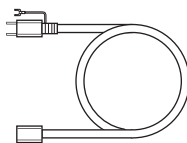
ご使用になる前に本書を一読され、より良いミュージックライフをお送り下さい。

付属品

パッケージの中には本体及び以下の物が入っています。万が一欠品があった場合は販売店または弊社までご連絡下さい。



SHP-5516M 本体



電源ケーブル



取扱説明書（本書）

ご使用になる前に知って頂きたいこと

本製品に使用されている SATRI 回路の特徴として、電源を入れてからバイアス電流が精密に固定されるまでおよそ 4 分の時間を要します。その間は電源ランプ（ステータスランプ）が点滅し、スピーカーからは音が出されません。

(→ 8P：電源を入れる)

SHP-5516M には有機半導体コンデンサを多数使用しています。そのため、製品本来の音質になるまでには 100 時間程度のエージング（通電）が必要になります。

(→ 9P：エージングについて)

アッテネーター付きのモデルの場合、ゲイン切り替え時に微少なノイズが発生します。これは回路の構造上やむを得ない現象であり、故障ではありません。

(→ 10P：アッテネーターオプションについて)

SHP-5516M はモノラルアンプです。ステレオでご使用になる場合は 2 台必要となりますのでご了承下さい。

安全上のご注意

安全にご使用頂き故障や事故を防止するため、必ず以下の項目を守ってお使い下さい。

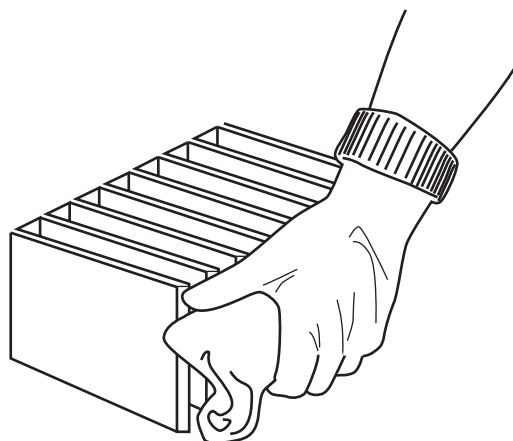
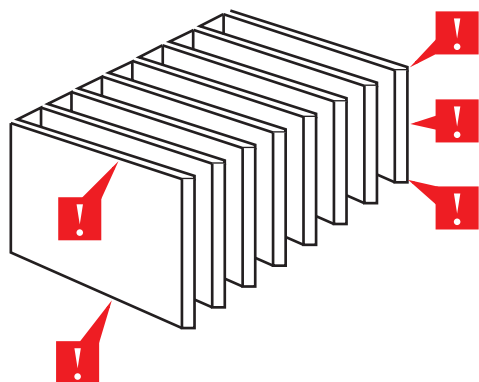
- ・高温多湿の場所での使用は避けて下さい。
- ・水に濡らさないで下さい。感電や火災の原因となります。
- ・電源ケーブルはかならず付属の物をご使用下さい。
- ・感電事故防止のため、アース端子をアースに接続して下さい。
- ・本製品の上に、クリップなど細かな金属物や水の入った容器を置かないようにして下さい。こぼれたり内部に落下した場合、故障や感電、火災の原因となります。
- ・オーディオ機器を接続する際は、必ず電源を切るかボリュームを絞った状態で行って下さい。
- ・カバーを外すなどの分解を行わないで下さい。故障や感電事故につながる場合があります。
- ・万が一、発煙や発火等の異常が発生した場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。
- ・お客様自身での改造行為は弊社の保証対象外となる場合があります。

本製品を移動・設置するときのご注意

- ・本製品の落下・転倒を防ぐため、不安定な場所を避け、平らな安定した場所に設置して下さい。
- ・設置の際は本機の周囲に空気が流れるよう、十分なスペースを設けて下さい。壁などに密着した状態で使用すると内部の温度上昇により故障する可能性があります。
- ・本製品には鋭くとがった箇所があります。怪我をしないようご注意ください。また、小さなお子様の手が触れない場所に設置して下さい。

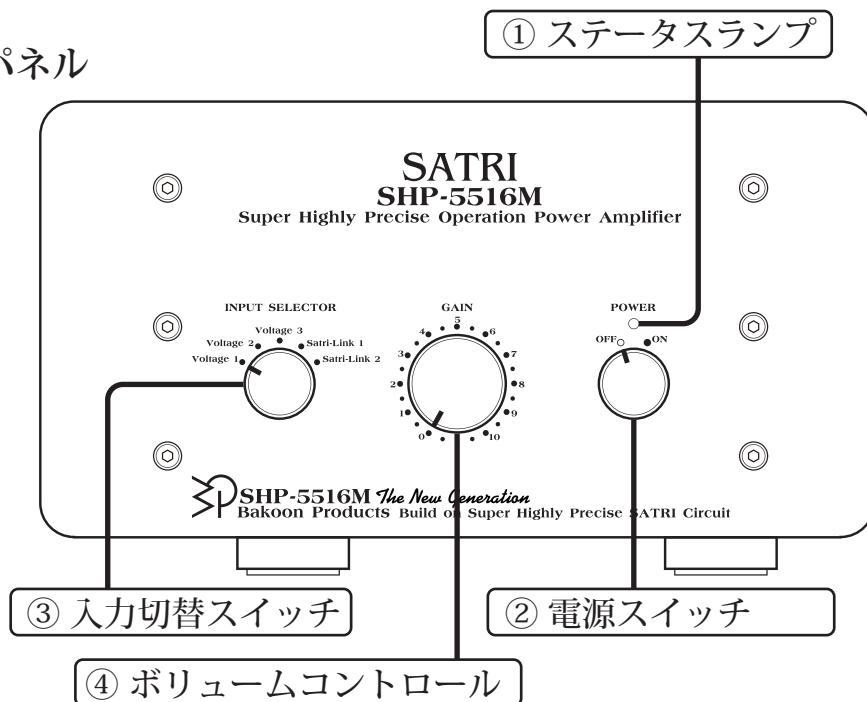
⚠️ ご注意ください ⚠️

※特に本体側面にある放熱板の角は非常に鋭くとがっています。持ち運びの際は本体側面を持つのを避け、本体前後面を持って運ぶようにして下さい。やむを得ず側面を持って運ぶ際は、厚手の手袋を装着し、柔らかい布や緩衝材を手と本体の間に挟む等の怪我防止対策を行い、絶対に素手で持たないようご注意ください。

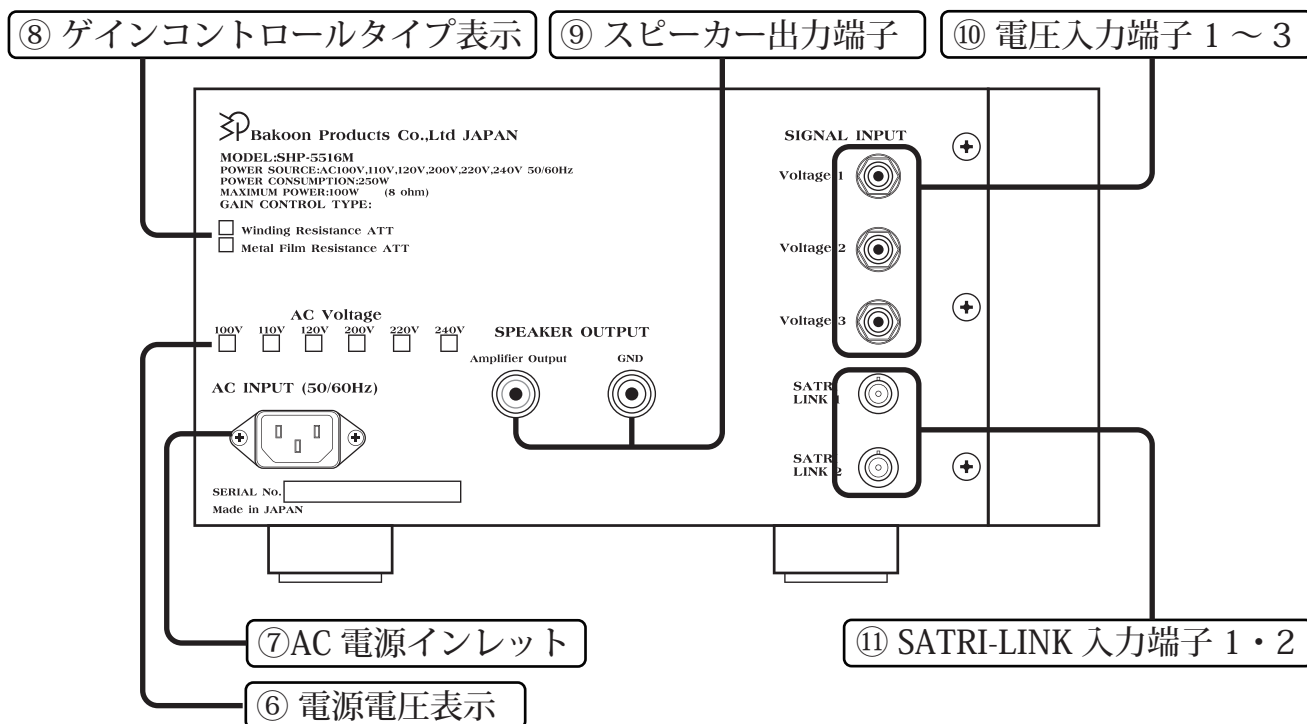


各部名称

フロントパネル



リアパネル



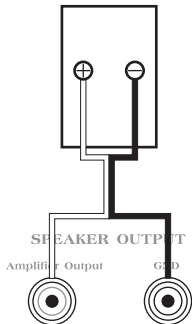
スピーカー・オーディオ機器の接続



必ず本機の電源スイッチを OFF にし、ボリュームコントロールを 0 の位置まで回してから接続作業を行って下さい。

スピーカーの接続

スピーカー（背面）



スピーカーを本機背面のスピーカー出力端子に接続します。(⑨)

本機の Amplifier Output 端子にスピーカーケーブルのプラスを GND 端子にマイナスを接続します。

プラスとマイナスを間違えて配線しますと、アンプの故障につながる場合がありますのでご注意ください。

本機に適合するスピーカーはインピーダンス $4\Omega \sim 8\Omega$ となっております。

本機の故障に繋がる恐れがありますので、 4Ω 未満のスピーカーは接続しないようにして下さい。

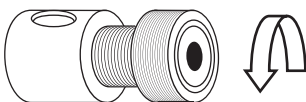
※本機に接続できるスピーカーは1台のみです。ステレオ構成で使用する場合は、もう1台の SHP-5516M が必要となります。

※本機の故障に繋がる恐れがありますので、スピーカー端子に2台以上のスピーカーを同時に接続しないで下さい。

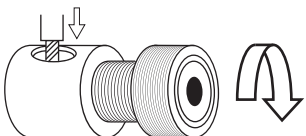
スピーカー端子への接続方法



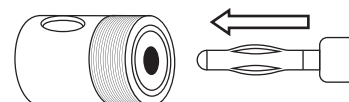
1. スピーカーケーブルの先端の被覆を 15 ~ 20mm ほど剥き、芯線を露出させます。



2. スピーカー出力端子を緩めます。



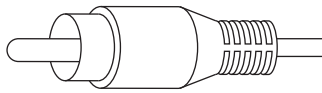
3. スピーカー端子の穴に芯線を通し、しっかりと締め付けます。



バナナプラグを使用する場合は、端子は緩めずにプラグを奥まで確実に差し込みます。

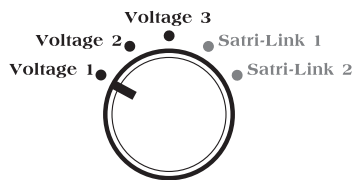
本製品は、モノラル 3 系統の電圧入力端子 (⑪) とモノラル 2 系統の SATRI-LINK 入力 (⑫) を備えています。

オーディオ機器の接続 (電圧入力)



RCA ピンプラグ (例)

INPUT SELECTOR



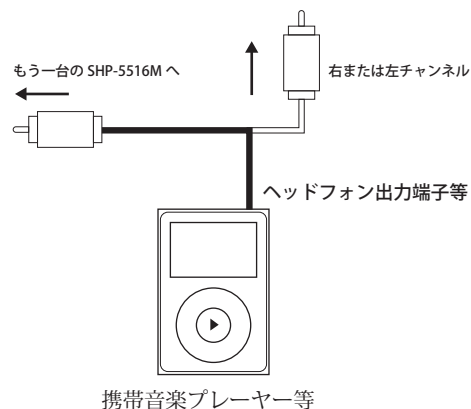
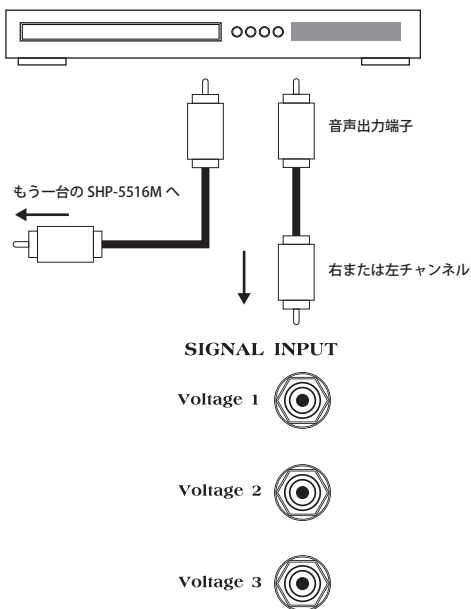
電圧入力端子には、市販の RCA ピンプラグを使ってオーディオ機器を接続します。一般的なライン出力を備えた機器を接続することができます。電圧入力は 3 系統あり、それぞれに別の機器を接続できます。

接続したオーディオ機器の切り替えは、前面の入力切り替えスイッチ (③) で行います。

入力切り替えスイッチ (③) の Voltage 1 ~ 3 が背面の電圧入力端子 1 ~ 3 (Voltage Input 1 ~ 3) (⑪) に対応しています。

接続例

CD プレーヤー等



本製品はモノラルアンプです。ステレオでお使いになる場合は 2 台必要となります。

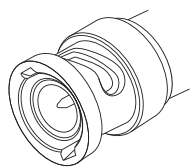
1 台の SHP-5516M にオーディオ機器の左右いずれかのチャンネルを接続し、もう片方のチャンネルをもう 1 台の SHP-5516M に接続します。

※複数の入力ソースを同時に出力する機能はありませんので、左右のチャンネルを 1 台の SHP-5516M の電圧入力へ接続されても、同時に出力できるのは左右いずれかのチャンネルのみになります。

音楽プレーヤーのヘッドフォン出力から接続する場合は、プレーヤーの音量を適切に調整し、最終的なボリュームの調整は本機で行って下さい。

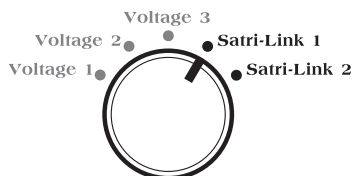
アクセサリなどを利用してライン出力が使用できる場合はそちらでのご使用をお勧め致します。

SATRI-LINK 接続



BNC プラグ (例)

INPUT SELECTOR



SATRI-LINK とは、弊社独自のオーディオ信号伝送方式です。一般的なライン接続では、オーディオ信号を電圧の変動で伝送しますが、SATRI-LINK の場合は電流の変動で伝送します。電流による信号伝送の特性として、接続された機器間の伝送ロスが少なく、より精密・正確にオーディオ信号を送ることができ、音質も向上します。

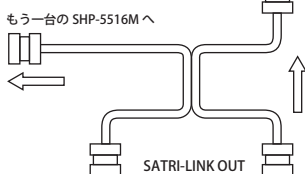
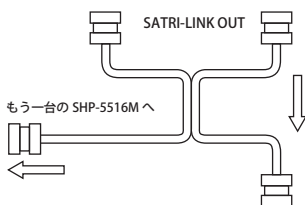
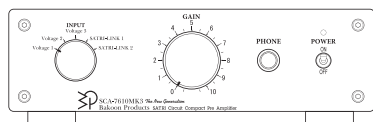
本機の SATRI-LINK 入力には、弊社製の D/A コンバータやプリアンプ、フォノイコライザーの SATRI-LINK 出力を接続できます。コネクタ形状は電圧入力との誤接続防止のため、BNC コネクタを採用しています。

本機には 2 系統の SATRI-LINK 入力を備えています。

入力切り替えスイッチ (③) の SATRI-LINK 1 および SATRI-LINK 2 が背面の SATRI-LINK 1・2 (⑫) に対応しています。

接続例

弊社製プリアンプ (PRE-7610MK3 等)



弊社製 D/A コンバータ (DAC-2000 等)

電圧入力の場合と同様、ステレオで使用するには 2 台の SHP-5516M が必要となります。

SATRI-LINK 接続用のケーブルは同梱しておりませんので、購入を希望される方は弊社またはお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。



ご注意ください



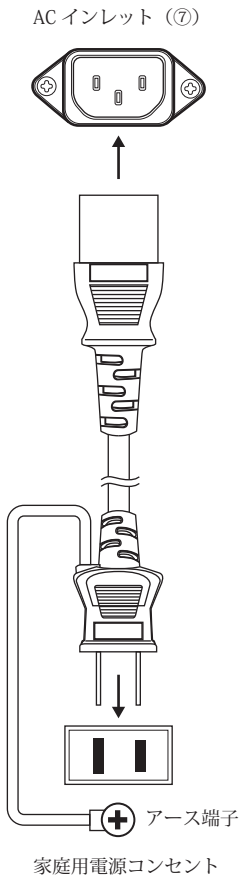
SATRI-LINK 入力端子には、必ず弊社製プリアンプなどの SATRI-LINK 出力と専用ケーブルで接続して下さい。
RCA-BNC 変換プラグなどを使用して電圧信号を SATRI-LINK 端子に入力することは絶対に避けて下さい。
アンプやスピーカーに回復不能な障害が発生する恐れがあります。
同様に、SATRI-LINK 出力を変換プラグなどを利用して電圧入力に接続することも絶対に避けて下さい。
誤接続による故障は保証の対象外となり、有償修理となる場合があります。

電源の接続



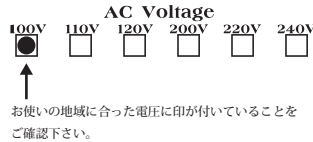
電源ケーブルを接続する前に、必ず本機の電源スイッチが OFF になっていることをご確認下さい。

電源ケーブルの接続



本体背面の AC インレット (7) に、付属の電源ケーブルを接続します。その際、電源電圧表示部 (6) に、お使いの地域に合った電圧に印が付いていることを確認して下さい。

電源電圧表示について



日本国内仕様の製品では、AC 100V に金色のシールで表示されています。それ以外の電圧に印がついている製品は日本国外向けの製品になります。

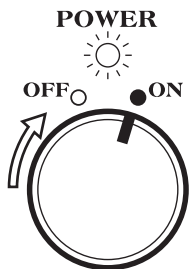
万が一、お使いの電源と電圧表示部の表示が一致しない場合は、コンセントに繋がず、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

家庭用のコンセントに電源ケーブルを接続します。接続の際は、電源スイッチ (2) が OFF の状態であることを今一度ご確認下さい。

※コンセントにアース端子がない場合、接続しなくても動作します。

※アース端子がある場合、接続するとノイズの低減による音質向上及び感電事故防止による安全性の向上につながります。

電源を入れる



ステータスランプの状態
緑色の点滅：調整中

●●●●●
青色の点灯：準備完了

●●●●●
赤色の点滅：異常発生

電源スイッチ (2) を右に回し、電源を ON にします。

自動的に内部電源の調整が始まります。その間、ステータスランプ (1) が約 4 分間緑色に点滅します。点滅している間はスピーカーから音は出力されません。

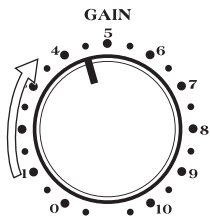
約 4 分後、ステータスランプが緑色の点滅から青色の点灯状態に変わります。この状態で全ての調整が完了し、音が出るようになります。

※ボリューム調整つまみは、ステータスランプが青色に点灯するまでは左に回して音量を絞った状態にしてください。オーディオ信号が入力されている状態で電源を入れた場合、ステータスランプが青く点灯した瞬間に突然大きな音が発生され、耳やスピーカーを痛める原因になります。

ステータスランプが赤色に点滅したときは故障の可能性があります。速やかに電源を切り、弊社または販売店へご連絡下さい。

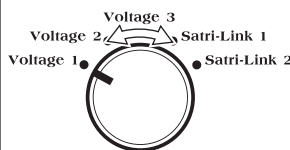
音楽を聴く

音楽を再生する



ステータスランプが青色に点灯したことを確認したら、オーディオ入力端子に接続した機器を再生状態にして下さい。ボリュームコントロール（④）を時計回りに回していくとスピーカーから音が出てきます。本機は再生される情報量が非常に多いので、音が大きく聞こえることがあります。ボリュームコントロールで快適に聞こえる音量に調整して下さい。本機を2台使用してステレオ構成でお使いの場合は、それぞれのボリュームコントロールを調整して、左右チャンネルの音がバランスよく聞こえるよう調整して下さい。

INPUT SELECTOR



複数の機器を電圧入力1～3、SATRI-LINK入力1・2に接続している場合は、入力切り替えスイッチ（③）で接続されている機器の音を切り替えることができます。本機を2台使用してステレオ構成でお使いの場合は、それぞれの入力切り替えスイッチを操作して、接続された機器の音を切り替えて下さい。

エージングについて

本製品に使われている有機半導体コンデンサは、本来の性能を発揮するまでにおよそ100時間の通電が必要とされています。そのため、本製品本来の音質を得るためにも100時間の通電が必要となります。これをエージングと呼んでいます。

エージングの方法は、電源を入れたままにしても、音楽を再生する間だけ電源を入れるだけでもどちらでも構いません。また、エージング中に音楽を鳴らし続ける必要もありません。

通算の通電時間が100時間となるのを目安にしてください。

※目安として、1日当たり2時間だけ使用される場合は約50日、電源を入れたままでしたら約5日でエージングが完了する計算になります。

その他

お手入れについて

- ・本体が汚れた場合は、乾いた清潔な布で拭き取って下さい。シンナー・ベンジン・アルコール等は使用しないで下さい。塗装に痛みや変色が生じ、錆の原因になります。
- ・ボリュームコントロールは、数ヶ月に一度、数回左右いっぱいに回して下さい。これにより、ボリュームコントローラーの固着や錆び付きを防ぐことができます。

アッテネーターオプションについて

GAIN CONTROL TYPE:

- Winding Resistance ATT
- Metal Film Resistance ATT

標準金属皮膜抵抗アッテネーターの表示

本製品は標準で金属皮膜抵抗を使用したアッテネーターを装備しています。また、ご注文時のオプションで無誘導巻線アッテネーターをご選択頂けます。本体背面のゲインコントロールタイプ表示(⑧)にアッテネーターのタイプが表示されています。アッテネーターの交換サービスも承っておりますので、交換を希望される場合は弊社までご連絡下さい。ご選択頂けるアッテネーターの種類と表示は以下の通りです。

Metal Film Resistance ATT	金属皮膜抵抗アッテネーター (標準)
Winding Resistance ATT	無誘導巻線抵抗アッテネーター

※アッテネーターとはボリュームコントローラーの一種です。

通常の変抵抗ボリュームよりもノイズが少なく、精密な音楽再生が可能になります。

アッテネーターに使用する抵抗器の種類によって音質にも違いが現れます。

金属皮膜抵抗アッテネーターではメリハリのある音が、無誘導巻線抵抗アッテネーターではより生音に近い、精度の高い音が得られます。

深夜・小さな音でもお楽しみ頂けます

弊社の SATRI アンプの特徴として、ボリュームの位置に関わらず S/N 比（音声信号とノイズの比率）が常に一定であることが挙げられます。

一般的なアンプではボリュームを絞り音量を小さくすると、音量に対して相対的にノイズレベルが上がります、音質に悪影響を与えてしまいます。しかし、SATRI アンプの場合は音量を絞れば絞っただけ、ノイズレベルも下がりますので音質が変わってしまうことはありません。

深夜など大きな音を出せない環境でも、小さな音でも心地よく音楽をお楽しみ頂けます。

それでは、SHP-5516M で心行くまで音楽をお楽しみ下さい。

故障かな？と思ったら

本機の動作が正常ではないと感じられた場合、以下の項目をご確認下さい。

どの項目にも当てはまらない場合は故障している場合があります。その際はお買い上げの販売店、または弊社までご連絡下さい。

電源が入らない

- ・電源ケーブルが確実に本体及びコンセントに差し込まれているかご確認下さい。
- ・お使いの電源が電源電圧表示と一致しているかご確認下さい。

スピーカーから音が出ない

- ・スピーカーケーブルが確実に本体及びスピーカーに接続されているかご確認下さい。
- ・オーディオ入力端子と再生機器が確実に接続されているかご確認下さい。
- ・接続したオーディオ機器が再生状態になっているかご確認下さい。
- ・本機のステータスランプが青く点灯していることをご確認下さい
- ・再生機器を接続したオーディオ入力端子が入力切り替えスイッチで選択されているかご確認下さい。
- ・ボリュームコントロールを回し、適切な音量に調整して下さい。

スピーカーからの音が歪んでいる・違和感がある

- ・スピーカーのプラス端子とマイナス端子が間違いなく接続されているかご確認下さい。

ステータスランプが赤く点滅している

- ・本体になんらかの異常が発生した場合、保護回路によりステータスランプが赤く点滅し、音の出力もカットされます。すみやかに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて弊社もしくはお買い上げの販売店までご連絡下さい。

ボリュームコントローラーのつまみに変色した

- ・ボリュームコントローラーつまみに使用しているベークライトという素材の特性で、永く使用しているうちにだんだんと色艶が出てきます。そのままご使用しても性能に影響はございません。

SHP-5516M 仕様

出力	スピーカー	100W(8Ω)
入力	モノラル電圧入力 3 系統 (RCA ピンジャック) モノラル SATRI-LINK 入力 2 系統	
入力インピーダンス	100KΩ	
適応スピーカーインピーダンス	4Ω ~ 8Ω	
寸法	185mm(H) x 360mm(W) x 420mm(D)	
重量	12.3Kg	
安全規格	PSE 規格	

- MEMO -



Bakoon Products

バクーンプロダクツ株式会社

故障・修理・製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

本社	〒861-1112 熊本県合志市幾久富 1866-941
電話	(096)-249-2046 (受付時間：祝日を除く月～金 9:00～18:00)
FAX	(096)-249-2045
Email	info@bakoon-products.com
Web サイト	http://bakoon-products.com/

購入店名：	電話（	—	—	）
購入年月日：	年	月	日	